

こどもの病気対策法①①

―夜間のこどもの血便―

大分大学客員教授 是松聖悟

今年度、子どものいるご家庭に配布してきた、夜間のこどもの病気対策フローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの血便」です。

子どもが血液混じりの便を出したとき、驚かない方はいないと思います。大人だったら、がんや潰瘍とかを連想するものですから。

しかし、実は子どもの血便のほとんどは心配いらないものです。血便の原因で一番多いのは、便秘や硬い便によって、肛門のすぐ内側から出血したものです。これであれば緊急性はありません。そこで今回のフローチャートをご覧ください。

便秘や硬い便による出血が一番の原因といっても、それで大出血はしませんので、おむつから溢れるような大出血をした場合は、こども救急電話相談#8000に相談ください。とはいえ、そのようなことは稀で、多くが便に血液が付着している程度だと思わ

れます。その場合でも、新生児（生後30日以内）であれば、血液を固まらせる生体機構に異常がある場合がありますので、同じくこども電話相談#8000に相談ください。

これらに当てはまらない場合は、不機嫌や腹痛があるかどうかを判断してください。これらがあれば、食中毒とか腸重積という緊急性のある病気のことがありますので、こども電話相談#8000に相談ください。不機嫌や腹痛がなければ、緊急性のある病気の可能性は低いので、朝まで観察していただいで結構です。

ただし、このフローチャートはあくまで目安です。心配事があれば、こども電話相談#8000に問い合わせてください。



夜間のこどもの血便 フローチャート

